

## 子どもの事故やケガ・やけど



### 頭を強く打ったとき

頭を打った後にすぐ泣いたか、ぼんやりしていなかったかなどよく観察してください。

#### ○様子を見て大丈夫と思われる場合（通常の診療時間に受診しましょう）

- ・すぐに泣き出し、泣きやんだ後は機嫌がよく、食欲もある。
- ・頭を打った後、意識や目、手の動きに異常がなく、普段と変わったところがない。
- ・会話が普通にできている。

#### ○救急外来を受診した方が良い場合

- ・意識がない。
- ・呼吸が荒い。
- ・何度も吐く。
- ・光をまぶしがって嫌がる。
- ・手足の動きが悪かったり、けいれんがある。

### やけどをしたとき

#### ○様子を見て大丈夫と思われる場合（通常の診療時間に受診しましょう）

- ・やけどの範囲が小さい。
- ・範囲第1度のやけど。  
（皮膚の表面が赤い。水ぶくれになっていない。）
- ・流水で20分程度冷やしましょう。服は脱がさずに、服の上から冷やしましょう。

#### ○救急外来を受診した方が良い場合

- ・やけどした部分が広いとき（大人の手のひらよりも広い）。
- ・やけどした深さが第3度のやけど。  
（皮下組織まで損傷した状態。皮膚が黒くなったり、白くなったりする。）
- ・水ぶくれは、やぶらないようにして清潔にしておいてください。

## 切り傷・刺し傷

○様子をみて大丈夫と思われる場合（通常の診療時間に受診しましょう）

- ・傷が小さく、出血が少量である場合。
- ・出血しているときは止血する。  
（清潔なガーゼを当て傷口を圧迫し、止血をする）
- ・傷口を流水で洗う。
- ・傷口が大きいときは包帯をして受診しましょう。

○救急外来を受診した方が良い場合

- ・傷が大きく、出血が多い。
- ・傷口にガラスなどが残っている。
- ・古いくぎなどでケガをしたとき。  
（破傷風にかかってしまう可能性があります。）

## 動物にかまれたとき

○様子をみて大丈夫と思われる場合（通常の診療時間に受診しましょう）

- ・ねこ・ねずみ・ハムスターにかまれた。

○救急外来を受診した方が良い場合

- ・犬にかまれた。
- ・動物にかまれた後、息苦しくなったり、ゼーゼーする。
- ・かまれたところが大きく腫れてきた。化膿している。

## 指をはさんだとき

○様子をみて大丈夫と思われる場合（通常の診療時間に受診しましょう）

- ・痛がって泣いたが、指が動き、すぐに泣きやんだ。
- ・赤く腫れたが、徐々に腫れがひいてきた。

応急手当

- ・流水や氷水で冷やす。
- ・冷シップ剤を貼る。

○救急外来を受診した方が良い場合

- ・いつまでも泣きやまず、腫れて内出血があるとき。
- ・痛がって指が曲げられないとき。
- ・指を切断してしまったとき。
- ・爪がはがれて出血しているとき。

## 誤飲をしたとき

◎小さい子どもは何でも口に持っていきます。落ち着いて何を飲み込んだかまわりのものから推測してください。

◎誤飲は、飲んだものによって対応が異なりますので注意しましょう。

○次のものを誤飲した場合、救急外来を受診しましょう。

・たばこ（2センチ以上）・漂白剤・殺虫剤・灯油・ボタン電池

○次のものを誤飲した場合、様子を見ながら診療時間になるのを待って、お子さんを病院へ連れて行きましょう。

ただし、大量に飲んでしまったときは、救急医療機関を受診しましょう。

化粧品・線香・入浴剤・せっけん・シャンプー・芳香剤・紙・植物活性剤・クレヨン・粘土・保冷剤・水銀・シリカゲル・プラスチック・ビニール・鉛筆の芯・インク・絵の具・墨汁

誤飲・誤食で処置がわからないときは、中毒110番に相談してください。

つくば中毒110番：029-852-9999（365日9時～21時対応）

大阪中毒110番：072-727-2499（365日24時間対応）

たばこ誤飲事故専用電話：072-726-9922（365日24時間テープによる情報提供）

公益財団法人日本中毒情報センターホームページ：<http://www.j-poison-ic.jp>